会　議　録

会議名	第１回　みよし市総合計画審議会　会議録
日　時	平成 25 年 10 月 28 日（月）　午前 10 時から午前 11 時まで
場　所	みよし市役所　3 階　研修室 3
出席者 （敬称略）	堀田友三郎、阿部和俊、高橋真、塚崎法子、平山啓子、加藤真司、鈴木文生、木戸友二、小野田勝輝、伊豆原浩二、新美修、出原繁男、天石惇郎、松浦八重子、清田由雅、鳥居鐐一、梅川小夜子、百石美祈、高鶴恵美、新谷千晶、山本哲之 （事務局） 久野市長、小野田副市長、藤根政策推進部次長 企画政策課：柴田課長、柴田副主幹、芳村主査
次　第	１　委嘱状交付 ２　あいさつ ３　議題 （１）総合計画の見直しについて （２）見直しスケジュールについて （３）評価方法について （４）総合計画の見直しに係る市民アンケート（案）について

会　議　録	
委員名	質　問　・　意　見
１　委嘱状交付	
事務局（次長）	会に先立ちまして、委員の委嘱をさせていただきます。時間の都合上、代表辞令としてお願いをしております。代表の方以外につきましては、あらかじめ席上に委嘱状を配布しておりますので、よろしくお願いします。
市長より出原委員へ委嘱状を交付	
２　あいさつ	
事務局（次長）	続きまして、市長よりごあいさつ申し上げます。
久野市長	委員の皆様方には、大変お忙しいところ、第１回のみよし市総合計画審議会にお集まりいただき、ありがとうございます。ただ今、委嘱状の方を代表辞令ということで、出原委員に交付させていただきました。本来なら皆様お一人お一人に交付させていただくのが本意でありますけれども、お許しいただきたいと思っております。 この総合計画は市の最上位に位置づけされる計画であり、まちづくりの基本方針となるのであります。本市の総合計画は、平成２１年度末の平成２２年３月に策定いたしまして、この計画に基づきまして、市行政を推進してきたところであります。平成２６年度には計画期間の中間年を迎えることから、現在までの計画の進捗状況を分析評価いたしまして、本年度と来年度の２ヶ年で計画の見直しを行うものでございます。

久野市長	委員の皆様には、忌憚のないご意見をいただき、今後のみよし市のまちづくりの基本指針に相応しい計画になるよう、ご審議をよろしくお願いいたします。
事務局（次長）	それでは、議題の審議に先立ちまして、本審議会の会長、副会長の選任をお願いしたいと思います。審議会条例では、議員の互選で会長を選任していただくということになっていますので、どなたかご推薦いただければと思います。
新谷委員	私は今回見直しをする総合計画の審議会にも参加しました。その時は会長を学識経験者、大学の先生にお願いをしました。総合計画ということで委員からいろんな意見が出ましたが、その先生の上手な案内により、計画がまとまったと感じております。今回は見直しではありますが、やはり市全体のことですので、私達が意見を交わす見方や考え方を整理いただけると、話し合いがスムーズに進むため、今回も学識経験者から会長になっていただけるといいと思います。
事務局（次長）	学識経験者の方からのというご意見をいただきました。いかがでしょうか。
全委員；異議なし	
事務局（次長）	それでは、学識経験者の方からどなたかご推薦をお願いしたいと思います。
伊豆原委員	地元の東海学園大学の堀田先生にお願いしてはと思いますが、いかがでしょうか。
全委員；異議なし	
事務局（次長）	ただいま、異議なしというお言葉を頂いております。堀田委員に会長をしていただきたいと思いますが、よろしいですか。
全員拍手により賛同	
事務局（次長）	ありがとうございます。それでは、堀田委員は会長席へお移り頂きたいと思います。 続きまして、副会長の選出でございますが、副会長につきましては会長が指名する者となっております。堀田会長の方からご指名をよろしくお願いします。
堀田会長	愛知教育大学の阿部和敏先生にお願いしたいと思います。
事務局（次長）	ただ今副会長には、阿部委員をご指名いただきました。それでは、阿部委員は副会長席へご移動頂きたいと思います。
事務局（次長）	引き続きまして、堀田会長よりごあいさつ頂きたいと思います。
堀田会長	みよし市の北部にあります東海学園大学の経営学部の教員を務めております、堀田友三郎と申します。今回、会長という大役を仰せつかった訳でございますが、皆様方のご支援の下に円滑に進めて参りたいと思います。このみよし市の総合計画の見直しという大変大きなお仕事でございます。委員の皆様方の活発な議論を展開していただきますように、微力ながら務めて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
事務局（次長）	諮問を堀田会長の方にさせていただきます。

久野市長より堀田会長へ諮問	
事務局（次長）	それでは、議題の審議に移りたいと思いますが、審議会条例の第４条第２号の規定におきまして、会長が審議会を進行するということになっておりますので、堀田会長よろしくお願いいたします。
議題　（１）総合計画の見直しについて	
堀田会長	今の説明について、何かご不明な点、ご質問等ございましたら挙手をお願いします。
全委員；意見なし	
議題　（２）見直しのスケジュールについて	
堀田会長	今の説明について、何かご不明な点、ご質問等ございましたら挙手をお願いします。
全委員；意見なし	
議題　（３）評価方法について	
堀田会長	今の説明について、何かご不明な点、ご質問等ございましたら挙手をお願いします。
全委員；意見なし	
議題　（４）総合計画の見直しに係る市民アンケート（案）について	
堀田会長	アンケートについていろいろとご説明がありましたが、何かご不明な点やご質問がありましたら、挙手をお願いします。
天石委員	３点、意見があります。１点目は２ページの属性についてです。質問２の年代のところは１０歳刻みで記されています。５番目が６０～６９歳、６番目が７０歳以上となっておりますが、７０歳以上を一括りにされてしまうと困ります。６５歳に法律の縛りがありまして、要するに高齢者の定義は６５歳以上となっています。それから今、年金も介護保険も６５歳以上からで、後期高齢者保険も７５歳からです。その辺は市の福祉高齢課が関係しますがよいのでしょうか。今までの継続性があるからそういうことをしたのかも知れませんが、その辺がよろしいのか、一つ確認しておきたいと思います。高齢者、高齢社会、高齢化比率等は全て６５歳が基準です。高齢問題に対して、こういう対処をしますという行政の姿勢もそこに基づいてやっているのですが、せっかくアンケートをとりながら、そういう項目が全然ないことが気になります。 ５ページ以降、４ページに「重要性についてお聞きします」とあるのは良いですが、４段階評価になっています。私の記憶では、市役所で行う他のアンケートは５段階評価だと思います。この項目は何点という結果が出た時に、こちらは４段階評価、あちらでは５段階評価となり、どちらが重要かという話になった時に、これ以外のアンケートを取った時に整合性はとれるのでしょうか。満足度では、前回の調査では「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満」、「不満」の５段階だったと思います。市の他のアンケートや関連する団体が行うアンケートは５段階が多いと思います

天石委員	が、それらとの整合性は良いのでしょうか。 　最後に、意見ですが、１２ページの質問２に「みよし市に期待すること、ご要望があれば記入下さい」とあります。問４のみよしの市の将来都市像について要望があれば書いてくださいとありますが、その他の項目のこと、例えば、安全に対して言いたいことがある場合、点数化するだけではなく、自由意見を市民が答える欄がないというのは、おかしいのではないでしょうか。私の希望としては、例えば、その他自由意見があったら自由にお書き下さいという項目で本音を聞き出すとか、日頃思っている疑問点をそこに書いていただくことを考えています。他のアンケートではそのような項目が入っていて、そこに重要な意見があります。社会福祉協議会でもアンケートとりますが、自由意見に重要な意見が書いてあります。調べる方はこの項目が点数化されればそれでいいと思いがちでしょうが、自由なご意見を書いていただくと、その中に普段あまり聞けない重要な意見がありますから、自由記入欄は入れなくていいのかなという疑問でございます。
堀田会長	今の天石委員からの質問あるいは意見について事務局の方から回答をお願いします。
事務局（課長）	３点目のご意見につきましては全くその通りでございまして、私たちの意見としましては、問４の中での自由意見を聞くものではなく、全体のその他市に対するご要望ということですので、これを問５という形で設問を起こさせていただきまして、すべての分野ではなくて自由なご意見が書けるようにさせていただきます。 　それと、５段階評価ではないかというご質問については、市が行う調査で統一的なものはありません。行政評価について行うアンケートでは選択肢を４つに分けたり、「わからない」という選択肢を入れて、それについては点数化するときのデータから外すこともしたことがあります。重要度については、重要かどうか分からない可能性があるため、選択肢に入れさせていただきました。満足度については、市民が満足か不満か感じるものでありますが、「ふつう」という答えはそれをどのように捉えたらよいか分からないため、満足度については４段階評価とさせていただきます。 　６５歳と７５歳の区分でありますけれども、こちらは発送します人数がどれくらいか、２，５００人を抽出した時に、６０から６４歳、６５から６９歳、７０から７４歳、７５歳以上でどれくらいの対象者が出てくるかを見て検討させていただきたいと思います。
天石委員	６０～６９歳という括りにして、高齢化問題が最後まで詳しくわかるのか疑問に思います。６０代前半と６０代後半では年金制度も保険制度も違います。
事務局（課長）	年齢については、６０～６４歳、６５～７４歳、７５歳以上とさせていただきます。
加藤委員	後で統計的な処理ができるように、可能であれば、具体的な年齢を書いてもらってはどうでしょうか。
伊豆原委員	具体的な年齢をお聞きするのは大変難しいと思います。ですから、今の問い方でもう少し詳しく聞いた方が良いと思います。６０～６４歳、６５～６９歳、７０～７４歳などというように５歳階級にするなどの方が良いと思います。
阿部副会長	要するに、前期高齢者と後期高齢者が分かるようにしておいた方がよいということだと思います。７５歳で区切られるため、７５歳以上とするのは一つの方法だと思います。

高橋委員	年代について、６０歳以外は１０歳刻みで、６０歳だけ５歳刻みになると、回答する側に恣意的なものを感じさせると思います。
堀田会長	統計の場合、恣意的なものが見えると、回答に影響を与えます。アンケートを４択にするか５択にするかについても、５択にすると真ん中の選択肢が一番多くなるため、事務局から説明があった通り、どちらかが見えるように４択にするということだと思います。年齢についても、一番大事なのが６５歳であるが、６５歳は年金や定年の関係で重要な年齢であるが、この辺りをどう扱うかが難しいです。
松浦委員	無記名アンケートでも、年齢を聞くのは難しいでしょうか。後で集計する時には細かく区切った方がやりやすいと思いますが、具体的に書いていただいて後で仕分けしたがよいのではないでしょうか。私は前期高齢者に入った年齢であり、年金や病気の話題が急に出てくるため、年齢の区分けの必要を感じます。年齢を細かく区切るより、後からの集計で分ける方が自然にデータを取れるのではないでしょうか。
堀田会長	今の意見について、事務局から何かありますか。質問２の年代について、具体的な年齢を尋ねてはどうかという意見でした。
阿部副会長	１０人のアンケートならそのやり方でよいでしょうが、１，０００人を超えると年齢を書かない人が出てくるため、それを防ぐには年齢区分を選ばせる方が情報を得る確率は高いと思います。 ４択か５択の問題について、調査をする側は白黒はっきりさせたいから４択にしたいと考えますが、答える側は「どちらともいえない」という選択肢がある方がやりやすい。４択は答える側には苦痛です。実施する側として「どちらともいえない」の割合を下げたいという気持ちは分かりますが、４択にしてよいのかなと思います。
出原委員	年代は１０歳にしていますが、始めを５歳に、終わりを４歳としてはどうでしょうか。つまり、５５歳～６４歳、６５～７４歳、７５歳以上というふうにしてはどうでしょうか。
堀田会長	今の意見は、年齢の区切りを５５歳からにしてはという意見ですが。
出原委員	スパンは１０年ですが、始めの年齢をシフトするということです。
堀田会長	そうすると、今度は６０歳という線は見えなくなります。
阿部副会長	アンケートをやる側として、「愛知用水路の上部利用」という言葉で市民は分かるのでしょうか。また、「広報」と「広聴」という言葉がありますが、広聴という言葉も分かるのでしょうか。あまり聞かない言葉ですが。また、「電子自治体の推進」は市民の方に分かりやすくできるのでしょうか。
事務局（課長）	今の質問につきましては、詳細を別紙に書いてございます。アンケート本体と別紙の２つを送ることを考えています。当初は別紙をアンケート本体に入れていましたが、文字数が多く活字ばかりになったため、見た瞬間に拒否反応を起こさせないようにするため、説明書きを見て分かるように、別紙を付けました。答える方には手間になりますが、それをご覧いただくことを考えています。

伊豆原委員	満足度はある程度分かりますが、重要度は５７項目あって、どう使うかの説明が書いてありません。このアンケートをどこにどう使うか、重要度の順位を付けてもそれが何を意味するのかが分かりません。先ほどの資料に「進捗に使う」と書かれていますが、何に使うか分からないままアンケートに答えるのは市民の皆様は不安だと思います。分野の説明はたくさん書いていただき、大変ありがたいですが、アンケートをどのように使うのかを整理して、重要度の順位を付けてその結果が何になるのかがわからないと、ここの部分は分かりにくいと思います。
事務局（課長）	満足度と重要度はそれぞれ点数化することで、平均値が出ます。平均値より上か下かという表を作ります。例えば、満足度は平均値を超えているが、重要度が低い指標など、４パターン出ると思います。重要度が高く満足度が高い指標があったとすると、市の取り組みが概ね市民のニーズに合っていると判断できると思います。重要度が高いが満足度が低い指標があったとすると、もう少し改善が必要な事業と位置付けられます。そういうことを確認し、今後、事業を進めていくに当たり、市がどのように進むべきかという指標として使うことを考えています。
堀田会長	伊豆原委員からの質問は、目的をもう少し明確に書いた方がよいのではというご指摘でした。事務局からは４択にすることについては、そのような使い方をするという回答だったと思います。伊豆原委員からは、アンケートの目的に書かれている項目が不足しているのではという指摘だったと思いますが、この点についてはいかがでしょうか。資料４のアンケートの目的について、優先順位を把握する、市民が考える市のイメージや将来像を明らかにする、市政に対する市民の意見や評価、要望等を把握する、とありますが、これ以上踏み込むとなるとどうなるのでしょうか。
木戸委員	資料１の１ページ「見直しの目的」と３ページ「見直しの基本的な考え方」が今回のアンケートの趣旨だと思います。この辺りをアンケートに書き加えないと何のためのアンケートか分からないのではないかという意見だと思います。 そういう点で見ますと、年齢区分や職業区分がこれで良いのかという議論があると思います。６５歳以上は高齢者の概念でもありますし、６５歳以上の雇用の話もございます。職業欄や年齢構成は重要な要素であると仰っていると思います。
堀田会長	活発にご意見をいただいていますが、今の木戸委員の指摘は、出原委員の意見に関連して目的をもう少し詳しく書いてはという意見でした。また、年齢は６５歳が重要ではないかという意見ですが、これらを踏まえて事務局で検討いただくことでよろしいでしょうか。
事務局（課長）	目的については「市民の皆様へ」という文章に追記すると文章量が多くなるため、「市民の皆様へ」を簡潔にし、その下に調査の目的を、対象者が理解できるよう注意事項と同様に囲みを付けて示させていただきます。年齢については、最終的には６０歳以上を５歳刻みにさせていただきたいと思います。
堀田会長	事務局より回答いただきました。他に意見はございますか。

鳥居委員	私は、将来、子や孫のために暮らし良いまちづくりをしたいと思っています。それと同時に、市の面積は３２ｋ㎡しかありません。その中に、市街化調整区域や工業系区域等があり、６万人近くの人が住んでいます。行政区が２５に分かれていますが、今後、人口が増えていくところがあると思います。市街化区域で家が建っていないところは自然に人口が増えていきます。また、４５年以前に住んでいる方で、大きな土地を持っている人が相続で土地を譲った場合、そこに新たに家が数軒できます。今後も市街化区域内の人口増があり、既存のところでも人口が増えると思います。将来、子や孫のために３２ｋ㎡しかないまちを住みよい街にしてほしいと思います。基本目標の総括で素晴らしい文章が書かれていますが、その中で、総合計画審議会の一員として参加させていただき、これから、５年先、１０年先のみよしをどうするかを考えていきたいと思います。アンケートで市民の意見を聞くことはよいですが、人口的なことのほか、３２ｋ㎡しかないまちについてどのようにしていくか、考えていただきたいと思います。
堀田会長	鳥居委員からは、総合計画の見直しについて将来について考えるとよいという意見がありました。これについては、特に回答の必要はないと思います。他に意見はありませんか。
全委員；意見なし	
堀田会長	議題は以上だが、他に全体的な意見や質問はございますか。
全委員；意見なし	
（事務局連絡事項）	
事務局（次長）	活発なご審議ありがとうございます。次回からは、先ほどご説明させていただいたスケジュールに従い進めて参ります。アンケートも行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。 次回の審議会ですが、２月２６日の１０時からで予定しています。皆様、公務等があると思いますが、万事繰り合わせの上、ご出席をお願いしたいと思います。 それでは、これを持ちまして第１回みよし市総合計画審議会を閉会いたします。